

# 平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 西浜中 学校
作成日	平成 27年 2 月 18 日

## 1 教育目標

「創造力に富んだ心豊かでたくましい生徒の育成」「自ら学び、ともに生きる」

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	目標は適切である。	目標は適切である。	目標は適切である。

取組の状況に対する意見	水軒浜の松の植栽活動、サマーフェスティバル、文化祭、吹奏楽コンサート、さらに、PTAバザーなどのとりくみは、歴史もあり、地域に定着した活動になっている。	生徒会を中心にした取り組みや、水軒浜の松の植栽活動・職場体験等、市民性を育てる活動はよく頑張っているのではないかと。	全体的によいと思われる。文武両道を目指して頑張ってもらいたい。
検証結果に対する意見	昨年同様、学校行事以外でも各種ボランティア活動への積極的な活動を期待したい。昨年はできなかったが、今年1年生が水軒浜の松の植樹を行いました。2年生の除草作業とともに、事前学習で、作業の手順を説明するとともに、水軒浜の歴史について学んだことは、地域を知る、さらには郷土愛といったことにつながっていくと思う。今後の活動について多面的な検討をすすめてほしい。	生徒会のスローガンである「笑顔いっぱい、優しさいっぱい、楽しさいっぱいの西中に」を意識しながら取組を進めることが「豊かな心を育てる」ことにつながっているということ、思いやりや助け合いなどの行為が「優しさいっぱい」につながっていくという思いを大切に、生徒会活動を進めていくことが大切。頑張ってくれている。	何らかの課題を持つ生徒に対する対応は、生活指導や通級指導教室担当の教員を中心に、粘り強く生徒に関わり、向き合いながら、対応してくれている。地域でも気になる生徒を見かけるときもあるものの、どう対処していいか判断に困るときもある。心の育成とあわせて、「生きる力」をしっかりと育てていくためにも、学校における「学び」を大切に考える生徒の輪を広げてほしい。
改善方法に向けての意見	昨年度、3学期制へと移行するなかで、限られた活動時間を有効に使って、「総合的な学習の時間」や学級活動の時間を含む特活について、それぞれの学年に見合ったものを、系統だてて進めていけるように、学校全体として取り組んでいく。	生徒会を中心にした取り組みは様々な形で進められている。そのなかで、個々に取り組まれているものが、それぞれの具体的な目標の達成にどうつながっていくのかという見通しを持って、今後とも、忙しい中ではあるものの、頑張ってもらいたい。	生徒にしっかりと「生きる力」を育てていくために、学級や学年といった集団の力の向上を進める取組をすすめるとともに、基礎的な学力が十分身につけていないと思える生徒に対して、日頃からの声かけや補足的な学習を充実させていく必要があるのではないかと。

## 3 その他のご意見

生徒や保護者のアンケートの中に、通学路が暗い(街灯が少ない)などの意見が見受けられるが、地域自治会などと話し合いながら改善の方向へ持って行けないか。通学路の問題もあわせて考えていく必要がある。